

2018年5月30日
株式会社日立製作所

日立製作所が「攻めの IT 経営銘柄 2018」に選定

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、経済産業省と東京証券取引所が選定する「攻めの IT 経営銘柄 2018^{*1}」に選ばれました。日立が「攻めの IT 経営銘柄」に選定されたのは、3回目となります。

「攻めの IT 経営銘柄」は、中長期的な経営視点から、企業価値の向上や競争力強化に結びつく戦略的な IT 投資および活用に取り組む企業を選定、公表するものです。2018 年は、AI や IoT 技術を活用して今後の新たなビジネスや付加価値を創出しているか、そのためにレガシーシステムの刷新を積極的に行っているかが、評価の重点ポイントとされました。

日立は、長年培ってきた OT^{*2}、IT、プロダクトを融合させた社会イノベーション事業に注力しており、IoT プラットフォーム「Lumada」の提供を開始した 2016 年以降は、デジタル技術の活用を加速しています。このような中、2017 年には、製造現場における課題解決に向け、ダイキン工業株式会社やトヨタ自動車株式会社と協創を開始し、デジタル技術を活用した新たなソリューションの創出を推進しています。また、メールやスケジューラーなどのコラボレーションツールをクラウド環境へ移行して刷新することで、社内のコミュニケーションを円滑にする環境を整備し、社内体制を強化しています。このたびは、これらの取り組みが評価されて、選定されました。

日立は今後も、これまで培ってきたデジタル技術やノウハウを活用し、Lumada を活用した新たなソリューション創出を社内外において推進していきます。

*1 攻めの IT 経営銘柄 2018:経済産業省と東京証券取引所が選定するもので、企業選定の際には、「①経営方針・経営計画における企業価値向上のための IT 活用」「②企業価値向上のための戦略的 IT 活用」「③攻めの IT 経営を推進するための体制および人材」「④攻めの IT 経営を支える基盤的取組み」「⑤企業価値向上のための IT 投資評価および改善のための取組み」の 5 つの観点で評価されます。

*2 Operational Technology

■2017 年 9 月 26 日ニュースリリース:ダイキンと日立が、IoT を活用し熟練技術者の技能伝承を支援する次世代生産モデルの確立に向けた協創を開始

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/09/0926a.html>

■2017 年 10 月 4 日ニュースリリース:トヨタと日立が IoT プラットフォームを活用した高効率生産モデル構築に向けて協創開始

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/10/1004a.html>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
